

■自動赤血球沈降速度測定器 ESR-6000BP 仕様一覧

測定法	ウェスターグレン法
使用血沈管	TMCディスポーザブル赤沈管
同時架設検体数	60検体
測定時間	30分値、1時間、2時間
計測範囲	0~150mm、0~100mm(試験管使用時)
計測誤差	±0.5mm
表示機能	16桁2行液晶ディスプレイおよびLED
操作部	テンキーおよび選択キー
測定方法	透過測光、ラスタスキャン方式
プリンタ	60mm感熱ラインドットプリンタ、20文字/行
オンライン	RS-232C(標準装備)

■機能

測定時間設定	1時間、2時間の切替
データメモリ	60検体(電源オフでも保持、次の測定時にクリア)
測定結果印字	自動印字(途中経過印字/終了時印字切替可)手動印字随時可
停電処理	停電前、停電後の測定値を印字し自動続行
温度補正	測定時の温度を計測し自動補正(オンオフ切替可)
検体番号入力	バーコードリーダーまたは手入力
残り時間表示	各チャンネル毎に可
エラー、警告	アラーム音、エラー内容の表示と印字 メッセージ内容 「ソクテイエラー」 「ヨミトリエラー」 「スキャンモータエラー」 「バックアップエラー」 「プリンタカバーオープン」 「プリンタペーパーエンド」 「プリンタエラー」
バーコードリーダー	ハンディ型 バーコード種類 code128、NW-7、ITF、code39 等
外形寸法(mm)	W495×H470×D345
重量	28kg
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	50VA
使用環境	温度:15~35℃ 湿度:45~85%

●外観、仕様は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

一般的名称:赤血球沈降速度測定装置
一般医療機器
特定保守管理医療機器
分類コード:35488000



安全に関するご注意

●ご使用前に必ず「取り扱い説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

●熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながる場合があります。異常を感じた場合はすぐに操作を停止し、お買い上げの代理店、販売店、または弊社までご連絡ください。



TMC 株式会社テクノメディカ 本社 〒224-0041 横浜市都筑区仲町台5-5-1 TEL(045)948-1961 FAX(045)948-1962
URL: <http://www.TechnoMedica.co.jp> E-mail: info@TechnoMedica.co.jp

本社(横浜)

名古屋支店 〒464-0850 名古屋千種区今池5-4-3 6F TEL(052)741-1516 FAX(052)741-1517
大阪支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-6 11F TEL(06)6393-3800 FAX(06)6393-3801
福岡支店 〒812-0015 福岡市博多区山王1-11-35 4F TEL(092)483-7333 FAX(092)483-7334
札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西7-2-5 4F TEL(011)271-3770 FAX(011)271-3760
仙台営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-14-1 3F TEL(022)771-9333 FAX(022)771-9334

北関東営業所 〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町2-44 5F TEL(048)650-8191 FAX(048)650-8192
甲信越営業所 〒390-0872 松本市北深志3-9-6 2F TEL(0263)38-0016 FAX(0263)38-0017
広島営業所 〒730-0802 広島市中区本川町2-6-5 6F TEL(082)961-3670 FAX(082)961-3671
松山営業所 〒790-0056 松山市土居田町23-5 1F TEL(089)945-3870 FAX(089)945-3871

本カタログは、2018年9月現在のものです。

自動赤血球沈降速度測定機

ESR-6000BP



バーコードリーダー
検体吸引ポンプ
自動温度補正機能

TMC Techno Medica

バーコードリーダー・検体吸引ポンプの採用で、安全、確実に血沈検査が行える血沈自動測定機のスタンダード。

自動赤血球沈降速度測定機
ESR-6000BP

60検体を同時に自動測定。ウェスターグレン赤血球沈降速度 (ESR) 測定法を採用した、高精度の自動赤血球沈降速度測定機です。



ESR-6000BPの主な特徴

基準法であるウェスターグレン法を採用

赤血球沈降速度の国際標準法であるウェスターグレン法により測定します。

バーコードリーダーを装備

バーコードリーダー、または手入力による検体番号入力機能により検体管理の信頼性を向上させます。

検体吸引ポンプを採用

検体吸引ポンプが、安全・正確・簡単な検体吸引を実現しました。

自動温度補正機能搭載

測定時の気温を計測し、自動的に補正します。

大型ディスプレイを採用

測定状況、あきポジション、エラー等、作動状況を表示する大型ディスプレイを採用しています。

60検体を自動測定

通常の60検体同時自動測定に加え、採血管に血沈管を挿入した状態での測定にも対応しています。

高精度測定を約束するラスタスキャン方式

高感度フォト・センサーにより血漿と血球の境界が不鮮明な検体も正確に測定可能です。

ディスポーザブル ウェスターグレン管を採用

洗浄の手間がいらぬ省力性に加え、ウイルス感染の予防にも効果を発揮します。

安全・正確・スムーズな血沈 自動測定をサポート。



採血管に貼付されたバーコードをバーコードリーダーで読み取り、検体番号を自動入力します。



ディスポーザブルタイプの血沈管を採血管に挿入し、吸引ポンプで安全・正確に検体を吸引。血沈管を本体の架設面にセットします。



ラスタ・スキャン方式により自動的に高精度の測定を実行。停電時など不測の事態にもバッテリーバックアップ機能により測定データを保護し、停電復帰後は自動的に測定を続行します。

採血管に血沈管を挿入したままでの測定も可能です。



採血管に血沈管を挿入したまま本体の架設面にセットし、検体を吸引します。



バーコードリーダーにより架設面にセットされた状況での読み取りが可能です。



大型ディスプレイで操作性を向上。

投げ込み式で簡単なラベル交換が行える測定データ印字用プリンタに大型ディスプレイをセット。各種メッセージの表示や警告で確実な操作をサポートします。

